

協働事業評価書

事業名「農業体験センター及び市民農園管理運営業務委託」

事業主体：和光生ごみ市民会議

担当課：産業支援課

評価者：協働推進懇話会（委員8名）

評価：◎他のモデルとなりうる ○適当である △工夫が必要

評価項目	評価 【◎○△】	評価内容	評価 【◎○△】	コメント
①事業の評価	◎ 3人 ○ 5人 △ 0人	事業スケジュール	◎ 2人 ○ 6人 △ 0人	<ul style="list-style-type: none"> ■詳細に年間スケジュールを立ててあること、また計画以上の事業を行なったことについても評価できる。 ■利用者数の増加は、最大の成果と言える。 ■講座等を充実したことで、利用者が前年度と比べて大幅に増えたことは素晴らしい。 ■講座の実施回数、参加者数が飛躍的に伸びており、来場者の満足度も高いことから、事業の成果は高く評価できる。 ■地権者や他団体との協力を得て事業が活性化している。 ■季節ごとの農業体験は、都市住民にとって大変貴重なイベントである。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業に対する意識のずれが見られ、事業成果指標に、団体と担当課の間で隔りがある。当初にすり合わせする必要がある。 ■農業者へのヒアリングによる課題抽出と分析が実施されていない点について、事業成果の検証をする必要がある。
		事業成果	◎ 5人 ○ 2人 △ 1人	
②協働の評価	◎ 1人 ○ 7人 △ 0人	プロセスの積み重ね	◎ 2人 ○ 6人 △ 0人	<ul style="list-style-type: none"> ■「NPO 法人こども・みらい・わこう」「NPO 法人ポコ・ア・ポコ」「社会福祉協議会」「農業後継者倶楽部」等他分野の団体との協力・連携を高く評価したい。 ■多様な団体が連携・協力しているのは、他事業にとってもモデルになる。 ■農からのつながりが様々なネットワークをはりめぐらすきっかけになったのではないか。 ■アグリパークの利用を通じ、利用者同士の交流が活発になっていることは評価できる。 ■当初の役割分担の違いを克服するなど、団体と市のコミュニケーションがとれていたと思われる。 ■予定外の事態に対し、両者が話し合いを経て改善に取り組んできたプロセスを高く評価する。 ■他分野の団体との協力・連携及びアグリパークのPRを熱心に行なったことは評価できる。 ■市の広報、ホームページ、広報誌「アグリパーク便り」、ロコミ等でアグリパークの存在を広くPRし、イベントや各種講座の実施によりアグリパークの活用と存在意義が非常に高まった。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民満足度の確認に対する意識が不十分であったため、今後改善できると良い。 ■広報誌「アグリパーク便り」を自治会に回覧するなど、多くの市民に読まれる工夫があるとなお良い。
		事業の広がり	◎ 3人 ○ 5人 △ 0人	
		市民満足度の向上	◎ 1人 ○ 5人 △ 2人	
		協働基本原則	◎ 1人 ○ 6人 △ 1人	
		協働の成果	◎ 3人 ○ 5人 △ 0人	
③総合評価 上記①、②以外のコメント (団体や市へのアドバイスを含めて)				<ul style="list-style-type: none"> ■地域の農業の啓発や推進に力を入れている姿は、他のモデルになり得る。和光市だからこそ農業で豊かな地域を築いて欲しい。 ■この事業のようにソフト面を充実させることによって、施設の存在価値がより高まることがあると再認識した。 ■25年度も継続して事業を実施しているので、団体から提案のあった事項を協議し、事業を進めて欲しい。 ■農業を通じてたくさんのつながりが出来ていくことを望む。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■協働事業実施の過程で生じた行政の制度上の課題については、当該事業の問題にとどめず、組織横断的な課題として共有したうえで、改善に向けた検討を行っていく必要がある。